

家庭内の安全対策

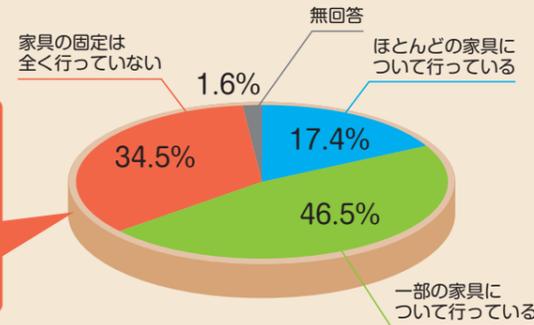
◆家具の固定（転倒防止）

阪神・淡路大震災で亡くなられた方の8割以上は、家具の転倒・落下等による圧死・窒息死でした。家具固定は、誰でも簡単に取付けができ、比較的安価で購入できる事前の防災対策ですので各家庭に合ったものを設置してください。

平成26年度市民アンケート
問：家具固定を行っていますか？

家具固定を行っていない理由

- ・ どんなものを取付けたらよいか分からない。
- ・ 取付方法が分からない。
- ・ 静岡県東部の地震（平成23年3月15日）の地震でも倒れなかったので大丈夫だと思う。



◆家具固定の方法

防災用品による固定（金具による固定が必要ないもの）



防災用品による固定（金具による固定が必要なもの）



その他の方法

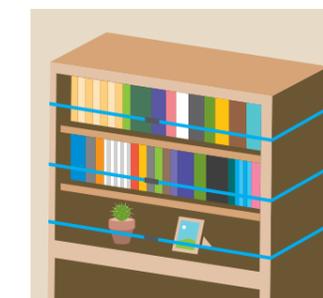


◆内容物の保護

地震が発生したとき、転倒した家具はもちろん、飛び出した家具の中身が避難の妨げになる可能性があります。戸棚のガラス部分には、飛散防止フィルムを貼ってガラスや棚の中身が飛散するのを防ぎましょう。また、ラックや本棚には落下防止バンドを取付けましょう。



飛散防止フィルム



落下防止バンド

◆プロジェクト「TOUKAI-0」

平成23年3月15日に発生した静岡県東部の地震により、富士宮市は最大震度6強を観測し、住宅瓦の破損やブロック塀の転倒等の被害が発生しました。今後、発生が予想される大規模地震等については、これまでの地震以上に大きな被害が想定されています。「TOUKAI-0」は、東海地震による家屋の倒壊等による死者をゼロにすることを目標に、昭和56年5月31日以前に建築された旧建築基準法の木造住宅の耐震化を促進し、震災時における人命の安全を確保するため進めている事業です。地震で命を失わないために、まずは、わが家の耐震性を知り、必要な備えをすることが大切です。

あなたの家の地震対策はお済みですか？



耐震診断は**無料**で受けられます。
補強計画や補強工事には**補助金**がでます。

◆木造住宅の耐震補強に関する制度の流れ



お問い合わせ

富士宮市役所 建築住宅課 ☎0544-22-1229

※ここに記載した内容は、一般的な流れの概要です。
①から③のいずれか1つの事業を受けることも可能です。
※補助額は、年度によって変わることがあります（本表は、平成27年度現在の補助金額です。）。